

シーニックバイウェイ北海道

十勝シーニックバイウェイ

トカプチ雄大空間 運営活動計画

Scenic Byway Hokkaido 2009

平成 22 年 5 月 17 日
シーニックバイウェイ北海道推進協議会

シーニックバイウェイ北海道
十勝シーニックバイウェイ
トカプチ雄大空間
運営活動計画



2010年2月
十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間 運営代表者会議

1. ルートの概要	P3
ルート名称	
十勝シーニックバイウェイ	
エリアの概要	
市町村構成	
メインルート	
ルートの地域資源・特徴	
観光モデルコース	
2. ルートのテーマ	P10
ルートのテーマ・ルートストーリー	
ルートの理念	
3. ルートの運営体制	P12
運営体制	
部会の役割	
活動団体リスト	
4. ルートの活動	P17
活動方針	
活動団体の実績	
活動実績	
中長期計画	
参考資料	P26
地域資源マップ	
活動団体リスト	



1. ルートの概要

ルート 1 の名称

我々の祖先、先人は北海道の大地に夢をもって入植してきましたが、その土地の名称は、先住民族であるアイヌ民族の言葉を起源としているものが多く、本空間の名称をつけるにあたって「とから」のアイヌ語読みである「トカプチ」を選択しました。トカプチとは、十勝川および十勝の地方名としてアイヌ民族が使っていた十勝の旧名称です。そのため、本ルートは、大きな恵をもたらす母なる川であり、十勝開拓の歴史の中では道でもあった「十勝川」と、十勝地方の雄大な空間をイメージできるように、先人の歴史を想像できるように、「トカプチ雄大空間」という名称で表しました。

※トカブチのアイヌ語の語源は、「乳房」であり、十勝川河口がかつて二つの乳房のように並んでいたことに由来しています。

ルートの名称:

Tokapuchi 十勝シーニックバイウエイ
トカプチ雄大空間

～自然の恵みと人の営みが織りなす開拓大地～



+勝シーニックバイウエイ

～十勝圏における3ルート連携～

十勝圏においては、平成18年5月に「十勝平野・山麓ルート」と「南十勝夢海道」、平成20年5月に、当ルートがシーニックバイウェイ北海道候補ルートとなり、3つの候補ルートが並立することとなりました。その後、平成21年5月には「十勝平野・山麓ルート」が指定ルートに認定されました。

3つのルートがそれぞれ独自性を保ちながら、連携と協働を進め、全体として十勝ブランドを強力に発信していくために、ルート代表と事務局による3ルート代表連携会議を組織しました。その合意内容がゲートウェイとしての「十勝シーニックパイウェイ」です。

TOKACHI SCENIC BYWAY

「食」と「癒し」で大地をつなぐ 十勝シーニックバイウェイ

「十勝」の魅力向上と発信のための、「食」と「癒し」を基本に
個性溢れる3つのルートが選択できます。

基本
理念

① 「食」、「癒し」を基
本に展開します。

② 訪れる人に「喜び」「学び」「気づき」を
届けます。

③ 魅力ある3つのルートが連携し、世界に通用する十勝ブランドの実現を目指します。

|特徴ある3つのルートで構成

●豊かな森・展望・アウトドア

十勝平野・山麓ルート

雄大な自然や夕景など四季折々の美しい風景。遠くから一望可能な大草原から広がる田舎の情景まで見られます。また、動物観察、マウンテンバイクなどのアウトドア活動も楽しめる。

●十勝人のルーツ・一層のスウィーツ

トカプシ達大空間

十勝の人々が生きてきた歴史の地を訪ねるというテーマがあり、郷土博物館や資料館などで地域の文化を知ることができます。また、伝統的な北海道産品や農産物を使ったスイーツなども楽しめます。各地域の特産品を生かしたオリジナルの商品もあります。

●雪国体験・温泉街

南十勝聖街道

雪山信仰の山頂へと人々が挑戦してきた歴史があります。「羊蹄山」は十勝最大の山であり、美しい景色を見守っています。
「白川村」では大雪が降ると有名な冬スキー場があります。また、熱水湯や鉱泉水を利用した温泉施設もあり、冬の楽しみ方を見つけることができます。

|十勝シーニックバイウェイが目指すもの

- 3つのルートがそれぞれ、ルートの特性と独自性を高める活動を展開します。
- 3つのルートが連携して活動を展開し、十勝ブランドを国内外にアピールします。
- 3つのルートを通るモデルルートを設定し、交流人口の拡大を目指す。

十勝シーニックバイウェイ

■メインルート(ルートを構成する道路)



区域内の主な国道と道道

- 道東自動車道
- 一般国道38号
- 一般国道241号
- 一般国道336号
- 帯広広尾自動車道
- 一般国道236号
- 一般国道242号
- 道道73号帯広浦幌線

ルートの地域資源・特性

ここでは景観・自然・歴史・文化・レクリエーションというシーニックバイウェイ北海道の5つの要素に沿って地域資源特性を述べさせていただきます。

地域資源の分類と特性

景観	空、山脈、丘、田園、川、海、花
自然	自給自足 モール風景
歴史	開拓 先住民 馬文化
文化	馬文化 先住民 食、地場の食材
レクリエーション	中心街 食、地場の食材 アウトドア

●景組

トカゲ・壁面空間というルートの名称が示すように、その特徴の一つは雄大さである。1市6町を合わせた広大な空間の中に、空、山脈、丘、田園、川、海が果てしなく広がる。著名な施設ばかりでなく、人々は田園や庭先を草花で彩り、耕地防風林の景観とも相まって北海道の中にあっても特筆すべき美しい景観を作り出している。

● 自然

農と林と漁とは人と自然が直接向き合い、対話しながら育む産業である。その結果として、十勝の食料自給率はカリーブスでは1,100%に達する。手つかずの自然とは異なる人と自然との協働、人の営みが育んだということによって、十勝の自然は特徴づけられる。世界に2か所しかないモールズ堤でもた、自然の恵みを人々が守りつづき享受するという関係が形成されている。

● 歷史

北海道各地の屯田兵による開拓と異なり、十勝は依田勉三をはじめとする民間の手によって開かれた地域である。自主独立の気風は今も「十勝モンロー主義」という言葉に引き継がれている。先住民族であるアイヌの歴史とも合わせて、他に誇りえる地域独自の歴史ということができる。

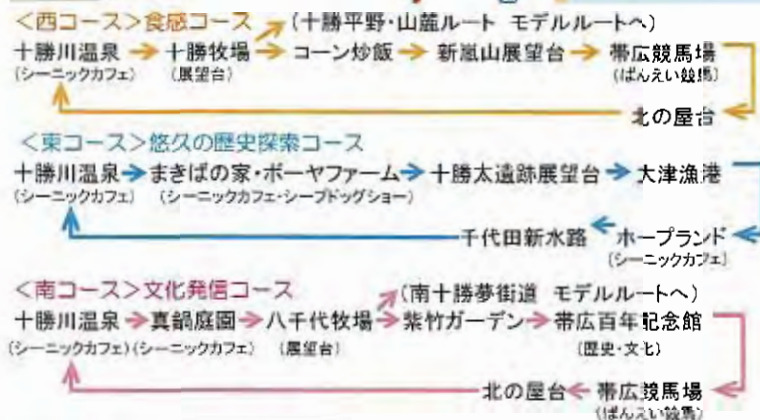
● 文化

北海道の開拓とともにあったばんえい競馬は、今世界に唯一所、帯広にしか存在していない。北海道遺産にも認定され、全国に多くのファンを獲得している。その担い手は市民によって運営されるNPOである。歴史が育んだ文化を市民が守り育てるという気風がここにはある。また、チーズやスイーツ、北の屋台など十勝を代表する食の資源も、多くの市民の手によって支えられている。

●レクリエーション

地域の活性化に取り組む数々の団体の活動によって、トカプチ雄大空間の街々は夏は花や祭り
で、冬は雪と氷とイルミネーションで様々に彩られる。中心市街地を含むルートだからこま味わ
る人々と人のふれ合いがルートの大きな魅力である。また、広大な空間を最大限に生かして、多
彩な人材が、訪れる人たちに多様な楽しみを提供している。

広がりのある本ルートをより効率的に、また、より深く楽しむことができるように、みどころを結ぶ3つのモデルコースを策定しました。散在するポイント同士を景色を楽しみながら訪れることができ、モデルコースごとに設けられた地域ごとのテーマを感じることができます。策定ルートはそれぞれ十勝川温泉を起点とし、最短1日程度の時間を設定しています。今後は、ルート・エリア・テーマ・期間など様々なパターンを検討してゆく予定です。



ルートのテーマ：十勝型産業の創出と人口増加

ルートストーリー

●歴史

本ルートは、十勝平野の中核にあり、いまでも訪れる人の絶えない「愛の国から幸福へ」の地を含む十勝圏中部エリアです。自然と共生していたアイヌの文化は、十勝の地名や遺跡などにも多く残っています。一方、開拓は大津より依田勉三ら率いる「晩成社」の入植から始まり、十勝川を遊り帯広市まで至り、そこから農地の開墾へと拡がって行きました。馬文化は、開拓や農耕と深く結びついて地域に根付いてきたものです。

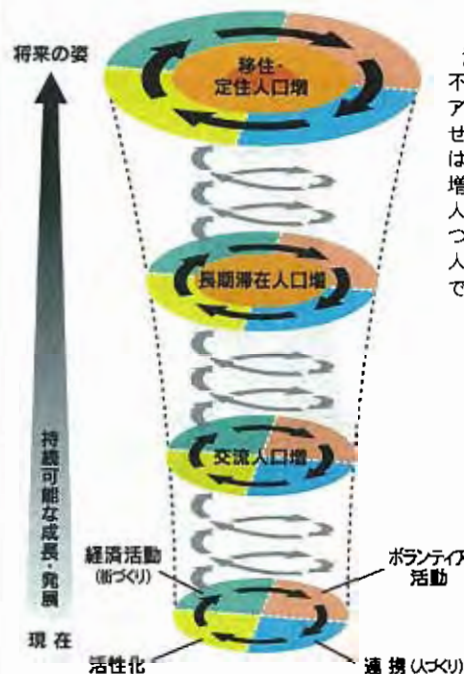
●現在

開拓によってできた広大な農地の風景、大地の恵みから生まれる農産物やスイーツに代表される食文化、帯広市中心部の北の屋台に代表される「人と人のふれあい」、北海道遺産のモール泉などの自然資源、これらにより、本ルートは訪れる人の心を癒すようなエリアを形成しています。

●将来の姿

この歴史と文化を踏まえた本ルートの活動により、農業など、地域の強みを活かした十勝型産業の創出と、地域の活力の基本である移住・定住人口増に向け、経済活動、ボランティア活動、連携、活性化の4つの活動を循環させていくことで、地域の持続可能な成長発展に繋がります。





活動を継続させていくためには経済活動が不可欠であることから、経済活動、ボランティア活動、連携、活性化の4つの活動を循環させ、螺旋状に持続させていくことで、短期的には交流人口増、中期的にはさらなる交流人口増および長期滞在人口増、長期的には交流人口および長期滞在人口をさらに増加させつつ、十勝型産業の創出と相まって移住・定住人口増につなげ、地域を活性化させていく中で、人づくり・街づくりを行っていきます。

活動8ヶ条

- 活動を通じた街づくり・人づくり
- 持続可能な活動
- 地域がうらやむ経済効果
- 活発な情報発信
- 大自然の善循環化を啓発
- 開拓の歴史を活かしたストーリーづくり
- 新たな価値の創造
- 景観の美化・保全



ルートイメージ図

共通基本イメージ「みどり」

「みどり」は色のみどりでもあり、植物のみどりでもあり、食をはじめとしたみどりからの恵みといったみどりであったり、本空間のイメージとしてのみどりであるなど、読み取り方によってはすべて「みどり」に集約され、本空間を一言で表すことばとして共通基本イメージとしました。

3. ルートの運営体制
運営体制

訪れていただいた人の持つ五感をフル活用して本空間を感じてもらいたいという思いを含め「楽しむ」「知る」「感じる」の3つの部会を設けています。前提には、我々自分達が楽しく、知っていて、感じる魅力を本空間から感じ取り、楽しいと思えるものでなければ来られた方々に伝えられないと考えています。

楽しむ部会

癒し・エコ
温泉・宿泊・エコ等見る・遊ぶ
景観・花・
アクティビティ等

温泉・宿泊・景観・花・アクティビティを中心に、十勝の魅力ある施設の連携を図り、より楽しめるプログラムを構築します。



知る部会

歴史・文化
馬・開拓・
博物館等味
農産物・昼台・
スイーツ

十勝の開拓や馬文化などの歴史の背景をたどり、現在の大規模農場から育まれた自然の恵みを北の昼台やお菓子などの名産品を通して発信します。



感じる部会

おもてなし
企画・情報・
研修

各部会との情報の共有や研修会などを通じて、新たなイベントやツアー、キャンペーンなどの企画をはじめ、情報センター設置、情報コンシェルジュの育成を行います。



本ルートの運営代業者会議は、企業、団体、NPO法人など27団体により構成されています。

楽しむ部会

癒し・エコ分科会

十勝川温泉旅館組合
●シーニックカフェ(社)帯広青年会議所
●環境エコ活動、美化運動瀬エコERC
●環境エコ活動、YRPカンナ・カンナ
●環境エコ活動

見る・遊ぶ分科会

真鍋庭園苗圃
●シーニックカフェ、GPH脚まきばの家
●シーニックカフェ・デッキ、コラボ活動十勝バス脚
●シーニック定期観光バス脚ボーヤ・ファーム
●コラボ活動シーブドックショーNPO法人コミュニティリンクあうるず
●ロングトレイル紫竹ガーデン
●GIH(ガーデンアイランドとかち)

知る部会

歴史・文化分科会

(有)プラン82

●イェローリボン・プロジェクト(YRP)



NPO法人日本のうらほろ

●情報発信



池田町ブドウ・ブドウ酒研究所

●情報発信



味分科会

北海道菓子工業組合十勝支部

●情報発信「食文化」



農業生産法人(有)北海道ホーブランド

●シーニックカフェ



北の起業広場協同組合

●情報発信「食文化」



感じる部会

おもてなし分科会

帯広観光コンベンション協会

●情報発信



とちか帯広デザイン振興協議会

●情報発信



帯広デザイナーズ協会

●情報発信、YRP



道東道とちか連携協議会

●情報発信



各部会に共通して参加

帯広商工会議所

●情報発信



帯広建設業協会

●美北新報、ロングトレイル



芽室町観光物産協会

●情報発信「食文化」



森の回廊の十勝

●森遊び、自然観察



NPO法人十勝多自然ネット

●河川美化活動



ExclamationN(エクスクラメーション)

●情報発信



細オークリーフ牧場

●情報発信「食文化」



南尾農産

●情報発信「食文化」



帯広物産協会

●情報発信



おびひろ市民ラジオ(FM-WING)

●情報発信



4. ルートの活動 活動方針

本ルートの活動は、●観光 ●地域づくり ●景観 ●環境 の4つの項目を基本として活動しています。各分野ごとに活動方針を設定し、長期ビジョンで活動に取り組んでいます。また、各分野が連携し、活動を行っています。

活動方針は以下の通りです。



●観光

陸・水・空・時の四次元ルートを完成させ、日本で有数の観光客を集客するために、基本となる十勝人の歴史や十勝のスイーツについて学び、ライフコンシェルジュ^{※1}の育成と女性プロジェクト^{※2}を実践し、ルートの地域資源発掘に力を入れます。そして、これらを基に魅力あるモデルルートを設定し、新しいメディアを活用して広く情報発信を行います。更に、地域住民と観光客との双方向コミュニケーションを充実させていきます。

※1 ライフコンシェルジュ：訪れた人に十勝の生活を伝えるアドバイザー

※2 女性プロジェクト：女性を中心としたビジネスモデルとなる活動



●地域づくり

道外、国外に対して、観光・食・アクティビティ・環境などの情報を、自信を持って発信できる地域づくりを行います。そのために、ホスピタリティを向上させ、組織・団体の活動を活性化させるなど、地域間競争に打ち勝つための情報共有や地域住民との連携強化による人づくり・街づくりを推進します。さらに、それらを生かした十勝型産業の開発を目指します。



●景観

五感と感動で楽しむ場所を提供するため、美しい景観の発掘と、景観阻害要因となる看板の撤去等の整備、雄大な景観デッキの整備、年間を通して豊かな時間を過ごすカフェの整備を進めます。また、十勝シーニックバイウェイ3ルートが連携し、巡る楽しみを創出します。



●環境

エコに関する啓蒙の推進、ゴミの削減による環境美化、カーボンオフセットの推進による環境の改善など、環境モデル都市・エリア実践のための連携を強化し、環境に関わる新産業による就業人口や移住・定住人口の増加を目指します。



活動団体の実績

本ルートでは、各活動団体が様々な分野で連携して活動に取り組んでいます。これまでの活動団体の実績を表にまとめました。

モデル ルート	団体名	活動内容	観光 振興	地域 振興	景観 振興	環境 振興	食 振興	文化 振興	産業 振興	その他
悠久の 歴史 訪問	十勝川温泉旅館組合	シーニックカフェ	○	○	○	○	○	○	○	○
	湖まきばの家	シーニックカフェ・デッキ、 コラボ活動	○		○	○	○		○	○
	湖ボーヤ・ファーム	コラボ活動 シーブドックショー			○	○		○		○
	NPO法人 日本のうらほろ	情報発信	○	○		○			○	
	湖エコERC	環境エコ活動、YRP				○		○	○	
食の 交流	北の郷土産物 振興組合	情報発信「食文化」	○	○	○	○		○	○	
	茅渚町観光物産協会	情報発信「食文化」					○		○	
	秋オリーブ牧場	情報発信「食文化」		○			○		○	
	湖尾原農産	情報発信「食文化」		○			○		○	
	農業生産法人(有) 北海道ホーランド	シーニックカフェ			○	○		○	○	
文化 発信	北海道菓子工業 組合十勝支部	情報発信「食文化」					○		○	
	赤井ガーデン	GMH	○		○	○	○		○	○
	真鍋園産直所	シーニックカフェ、 GMH	○		○	○	○		○	○
	(有)ブランド プロジェクト(YRP)	イノベーション プロジェクト(YRP)		○	○	○		○	○	
	Esaki! makonori (1人1人1店舗)	情報発信		○					○	
連携	十勝バス網	シーニック 定額観光バス	○		○	○		○	○	○
	帯広商工会議所	情報発信							○	
	帯広デザインズ 協会	情報発信、YRP				○		○	○	
	とから町広域デザイン 振興協議会	情報発信						○	○	
	帯広建設業協会	美化活動、 ロングトレイル			○	○			○	○
	NPO法人十勝 多自然ネットワーク	河川美化活動				○			○	
	(社)帯広観光 コンベンション協会	情報発信					○		○	
	(社)帯広青年会議所	環境エコ活動、 美化活動				○		○	○	
	カンナ・カンナ	環境エコ活動					○		○	
	運来連とから連携 協議会	情報発信							○	
	NPO法人こもていプロジェクト あうるず	ロングトレイル	○	○	○				○	○
	森の国都十勝	森遊び、情報発信	○	○	○				○	○

H18年から始まった、本ルートのこれまでの活動をまとめます。
また、特に力を入れた活動について次ページから詳細を示します。

[illegible]

プロモーション活動

本ルートでは、花火大会、雪まつり、道東道キャンペーンなど、十勝圏内から遠くは羽田空港の様々な場面で合計15回のプロモーション活動を行なってきました。PRは、環境問題を考え、チラシ配布等ではなくQRコードから本ルートのサイトへアクセスしてもらう方法や、クイズ形式でルートに関する情報を発信する方法など、楽しんでもらう工夫をしました。

- H20年度：勝毎花火大会、道新花火大会(帯広)
さっぽろ雪まつり(札幌) 計3回
- H21年度：YOSAKOIソーラン祭り(札幌)、
勝毎花火大会、道新花火大会(帯広)、
とかち大好きフェスティバル(帯広)、
とかちばん馬祭り(帯広×2)、
道東道キャンペーン
(帯広×3、札幌、羽田空港)
おびひろ氷まつり(帯広)
さっぽろ雪まつり(札幌) 計12回



とかちイエローリボンプロジェクト「3ルート連携事業」

とちえイェローリボンプロジェクトは、帯広競馬場など十勝管内の有休地の資源作物(菜の花・ひまわり)栽培による景観創出および循環型社会の構築を目指すプロジェクトです。

十勝シーニックバイウェイでは同プロジェクトと連携し、ルート内の遊休地や施設敷地にヒマワリを植えて十勝街道を黄色でつなぐ活動を行いました。

今後の目標としては、十勝シーニックバイウエイ
ルートを黄色い資源作物で彩り、新たな景観創出と
種を回収できるシステムを構築し、地域で取り組める
循環型システムを構築したいと思っています。

- 期間: H21. 6月~10月



情報発信ブース

本ルートでは、ルートの立ち上げ当初から情報発信の重要性を認識しており、連携の最大は情報の共有と考えていました。MLの活用、携帯サイトやHPの立ち上げのほかに、各施設が自分の所以外のメンバーの情報を発信する事により連携と、来客へのトカプチータルとしての情報サービスを心掛けることとしました。一つの施設の魅力よりも地域としての魅力を発揮する上でも有効な手段と考えています。

そこで、活動団体の各施設に、ルート内の活動団体のメンバーのパンフレットが置ける情報発信ブースを設置しました。

H22. 2月現在の設置箇所は7箇所、随時拡大しています。今後、全てのメンバー施設への設置を推進します。



クリーンキャンパス21

私たちの住む「とかち」をきれいな住み良い地域となるようにめざしている市民活動「クリーン・キャンパス・21」に、「シーニックパイウェイ・トカプチ雄大空間」として参加しています。

この活動に参加することで、「どのような方法があつて、何が求められているのか」、「地域の方々の意識が変わってきたのか」等、先行する活動から経験や知識を学び、我々の団体が起こすべきアクションについて考えることができます。

今後もこの美化活動には継続的に参加し、違ったニーズの美化活動を我々独自でも提案できるか検討してゆきたいと考えています。

- H20. 10月実施
- H21. 10月実施



研修会

活動団体の活動内容の相互理解と今後、トカプチ雄大空間における連携を考えるきっかけづくりや、ルート内の魅力再発見を目的とした有識者を招いての勉強会等、様々な研修会を開催しています。また、研修会の中で各団体の活動内容の発表も行い、お互いの活動の理解を深めています。

十勝シーニックパイウェイとしても、3ルート合同の研修会を開催し、カーボンオフセットやエコドライブに関する勉強会を実施しました。

- 活動団体連携会宿〔H20.4月〕
- 3ルート連携研修・視察会〔H21.10月〕
(エコドライブ・カーボンオフセット研修)
- 歴史・スイーツ研修会〔H21.10月〕
- おもてなし研修会〔H21.11月〕



コラボ活動

本ルートの活動は、十勝川温泉のホテル間のコラボ活動「十勝川温泉活性化事業」とまきばの家とボーヤ・ファーム間のコラボ活動「シーブドッグショー」の2つを連携させたことから始まりました。

コラボ活動同士をシーニックでつなぎ、複合的に連携することで、シーニック定期観光バスなど新たな取り組みを行なうことができました。

●十勝川温泉活性化事業

十勝川温泉では、各ホテルが連携して、夢ポータル鑑賞会、オータムフェスタin十勝川、彩凜華など一年を通して様々なイベントを開催しています。

●シーブドッグショー

池田町内のカフェ・レストラン・コテージを運営する「まきばの家」と羊牧場「ボーヤ・ファーム」では、お互いの敷地が隣接していることを生かし、コラボ活動としてシーブドッグショーを開催しています。



シーニックカフェ

H19年に試行し、H20年からスタートしたシーニックカフェ十勝が丘展望台では、コンサートも開催し、大変好評を頂いております。H21年11月に、新たにウッドデッキが完成し、いままで以上の来場者が期待できます。

また、H21には、新たに3箇所の活動団体の施設がシーニックカフェとして加わり、ルート内のシーニックカフェは4箇所となりました。

さらに、シーニックカフェのサインを作成し、各カフェに設置しました。

- 十勝が丘展望台(H20. 5月～)
- まきばの家 風とひつじの丘(H21.5月～)
- ブルー・スプルス(真鍋庭園内)(H21.5月～)
- 北海道ホーブランド 幕別いちご園(H21.5月～)



十勝シーニックカフェ スタンプラリー [3ルート連携事業]

H21年8月～9月に、十勝シーニックバイウェイのシーニックカフェを巡るスタンプラリーを開催しました。2ヶ月間という短い期間でしたが、3箇所のスタンプを集めると各カフェ自慢の商品をその場でプレゼントという手軽に楽しめるスタンプラリーであったため、多くの方に楽しんでいただけたました。

スタンプラリーの実施により、今までカフェがあることを知らなかった方々に、カフェの開催情報およびシーニックバイウェイについて知っていただくことができ、非常に有意義なイベントとなりました。

今後は、シーニックカフェだけでなく、ルート内の活動団体の施設を巡る周遊チケット制度と連動させたスタンプラリーなど、趣向を凝らした集客策を実施したいと考えています。



中長期計画(1)

分野	重要事項	進捗状況	実施方針	活動の方向性	計画と実行	2～3年後	4～6年後	7～9年後
観光	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興
	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興
	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興
	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興
観光	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興
	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興
	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興
	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興
観光	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興
	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興
	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興
	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興	観光振興

母数期間計画(2)

[illegible]

参考資料

- 地域資源マップ
- 活動団体リスト



十勝川温泉旅館組合



左上/展望台から市街地を望む 右上/新設されたデッキから市街地を望む 左下/フットパスから展望台到着、右下/ビューポイントの観光バス（エコロジパークにて）

	団体名・属性	団体名	団体種別
		十勝川温泉旅館組合	任意団体
団体概要	概要	十勝川温泉シーニックカフェ	
	活動目標	- 十勝および十勝川温泉地域の活性化 - 十勝および十勝川温泉（モール温泉）の知名度向上	
	活動内容	- 十勝が丘展望台（シーニックカフェ）におけるコーヒー、お茶等サービスの提供 - 十勝および十勝川温泉関係情報の提供（十勝川温泉ガイド） - 地域の美化およびフットパス等により温泉街並びにエコロジパークと連携	
	活動エリア	十勝・北海道	
	組織構成	組合長：菅井清志	
	所在地	音更町十勝川温泉北 15 丁目 1 番地	
	連絡先	電話：0155-46-2447 FAX：0155-46-2533	
	ホームページ		
シーニックとの関わり	部会・分科会	楽しむ部会／癒し、環境部会	
	活動内容	十勝が丘展望台（ビューポイントパーキング）において、シーニックカフェを実施して、他団体（地域）と連携	
	将来の展望	十勝川温泉観光協会と連携し、活動を充実させる	

社団法人 帯広青年会議所



写真タイトル

団体名・属性	団体名	団体種別
	社団法人 帯広青年会議所	団体
概要	民間と行政のアダプトプログラム。まち一体の環境美化清掃啓蒙の活動	
活動エリア	帯広市内10エリア	
組織構成	帯広市内各企業、各団体、帯広市役所	
所在地	帯広市西5条南7丁目1番地	
連絡先	0155-65-4135	
ホームページ	http://www.city.obihiro.hokkaido.jp/shiminkankyoubu/kankyoka/a160101seisou/	
部会・分科会	エリアリーダーで組織される実行委員会が運営	
活動目標	日本一きれいなまち「とかち」を実現する為の市民運動と環境に対する意識の向上	
活動内容	それぞれのエリアでの清掃啓蒙活動と年2回の全体清掃及び推進会議の実施が中心。帯広市が清掃用具、保険、ゴミ回収等のバックアップ、市民はエリアに責任をもった活動と啓蒙を実施する(里親制度)	
シーニックバイウェイとの関わり	通常活動での人員交流。推進会議での環境、観光の観点からみた意見交換と連携推進	
将来の展望	08年度に十勝毎日新聞社主催の十勝環境特別賞を受賞。急速な認知度向上を活かし他団体との連携を深め、とかち全域に環境美化の啓蒙を広げると共に、環境と観光のつなぎ役としての役割を強固なものにする。	

株式会社エコERC豊頃工場 なたね館・BDF館



ポスターにシーニックの宣伝を入れた定期観光バス/A4チラシ

団体名・属性	団体名	団体種別
	株式会社エコEC	企業
概要	バイオディーゼル燃料製造販売・食用油製造販売・コンストラクター事業	
活動エリア	十勝：管内19ヶ市町村・北海道内全域	
組織構成	代表取締役社長 寺嶋 誠一	
所在地	本社：帯広市東2条南29丁目 豊頃工場：中川郡豊頃町茂岩	
連絡先	本社：0155-48-6611 豊頃工場：015-579-5511	
ホームページ	http://www.ecoerc.com/	
部会・分科会	楽しむ部会/癒し・環境	
活動目標	十勝の基幹産業と連携し新たな農産物の普及拡大を図ると共に、油糧作物育成過程、菜の花・向日葵の開花景観を新たな観光資源と位置づけ、農業者の意識改革を図り観光資源型異業種連携モデルを目指し地域の石炭となる事により持続可能な農業地域を創る事で当社が発展するビジネスモデルを創造する。	
活動内容	豊頃工場を核とし、畑地や遊休農地に「なたね」「ひまわり」等の油糧作物の栽培面積を拡大する事により各地道路沿線に広がる菜の花畑・ひまわり畑等の景観を観光資源とし、さらに道内初の食用油製造工場において地域の農業生産原料で希少な国産食用油を製造販売し新たな特産品として地域の発展に寄与する。	
シーニックバイウェイとの関わり	バイオディーゼル燃料、食用油の工場のコンセプトは十勝発祥の歴史にラップさせています。新たな時代の幕開け、エネルギー・食料、これら開拓の歴史に重ねる事でストーリーを描き、道路沿線を遡上し十勝が今後発展する。その景観・光景を資源とし道路網を活用して更なる発展を目指す処がシーニックとマッチングし地域活動として連携させて頂く処です。	
将来の展望	エコERCは ・再生可能エネルギー(BDF)の生産と普及(EcoEnergy) ・地域内循環を通じた持続可能な地域づくり(EcoRegion) ・循環ビジネスの確立(EcoCorporation) 等の実現に向け取り組んでいます。これらを実現する事が地域を持続可能な社会になると信じています。	

(地域資源を活用した環境体験観光)



右上:木育(もくいく)体験 右下:マイ箸づくり体験 左上:植樹活動 左下:割り箸回収活動

団体名・属性	団体名	団体種別
	自然にいいこと、再出発。カンナ・カンナ	市民活動団体
概要	環境 NGO	
活動エリア	主に十勝、北海道内	
組織構成	代表者：三浦潤一	
所在地	帯広市以平町西 3 線 8 番地 6	
連絡先	TEL/FAX：0155-64-5754	
ホームページ	http://www7.plala.or.jp/kannakanna/index.html	
部会・分科会		
活動目標	観光から環境を考えるきっかけを創造し、みどり豊かな地域づくりを活動の目標とします。	
活動内容	生活に身近な使用済み割り箸の回収活動を行い、森林資源の地域内源循環の実施と普及啓発を行います。	
シーニックバイウェイとの関わり	観光と環境をつなぐ「かけはし」	
将来の展望	観光拠点で、地域資源を活用した参加型の(エコな)体験を提供し、環境体験観光を実施し定着させる。	

真鍋庭園



左上:真鍋庭園エントランス 中央上:日本庭園 右上:カフェ・ブルー・スプリース
左下:西洋庭園空撮 中央下:西洋庭園秋 右下:風景式庭園 8mの滝

	団体名・属性	団体名	団体種別
		真鍋庭園苗畑	民間企業
団体概要	概要	観光庭園・カフェ・樹木生産販売・林業	
	活動目標	緑や自然に関する社会貢献・独創性・種の保存・伝統技術の伝承など	
	活動内容	日本初のコニファー・ガーデン(針葉樹庭園)。日本一の面積が広い個人庭園の中には、北欧・北米などから輸入された植物が何千品種もあり、生産・育種・販売を生業としている。ガーデンセンターとカフェテラスを併設。林業もしている。	
	活動エリア	帯広:観光庭園公開・カフェ・樹木生産 十勝:林業 全国:樹木販売	
	組織構成	〔代表者〕 真鍋 憲太郎	
	所在地	〔住所〕 帯広市福田町東 2 線 6 番地	
	連絡先	〔電話〕 0155-48-2120 〔FAX〕 0155-48-2169 〔Mail〕 mobile@manabegarden.jp	
	ホームページ	〔HP〕 http://www.manabegarden.jp	
シーニックとの関わり	部会・分科会	楽しむ部会/見る・遊ぶ	
	活動内容	・シーニックカフェへの登録・十勝産間伐材の活用・シーニック観光バスへの参加・情報発信ブース設置による参加団体連携PR・GHI とから連携の花マップ作成・GHI とから連携の産産物と苗の配布・イェローリボンプロジェクト連携のひまわり鑑賞・周辺国道や市道のボランティア清掃と芝刈・十勝管内の山林保全と運営・生産緑地の運営・防風林苗や山林苗の生産・公園や街路の緑化樹生産	
	将来の展望	参加団体同志の連携によって、意識の向上や地域の観光的魅力の底上げがなされ、「観光発展地である十勝」が、「北海道観光といえば十勝」となるようにしたい。また、互いに他施設や連中景観を目標できるように、寄り道せざるを得なく、滞在時間が足りないと言われる地域にしてゆきたい。最終目標は、とかがちが住みたい地域全国 No.1 になる事。	

(株)まきばの家



団体名・属性	団体名	団体種別
	株式会社まきばの家	企業
概要	カフェデッキ・レストラン・コテージ・キャンプ場	
活動目標	一度だめになった観光資源の復活を目指します	
活動内容	北海道の雄大な景観にマッチした、ひつじのテーマパークや羊肉を使った料理の提供	
活動エリア	池田町	
組織構成	代表者 林 秀康	
所在地	中川郡池田町清見 144	
連絡先	TEL015-572-6000 FAX015-572-4081	
ホームページ	http://www.makibanoie.com	
シーニックの関わり	部会・分科会	楽しむ部会/見る・遊ぶ
	活動内容	自然の中に在るシーニックカフェやシーニックデッキを整備して、癒しの空間を提供しています。清見ヶ丘展望台をシーニックの仲間と町で整備して、ビューポイントにする取り組みをはじめています。
	将来の展望	道を通じていろんな人達が池田町に来て、ゆっくりと自然や羊とふれ合い、心と体が癒される施設を目指します。又、池田町と言えばワインと羊の町と言われる、地域づくりを目指します。

十勝バス株式会社



ボディにシーニックの宣伝を入れた定期観光バス/A4チャシ

団体名・属性	団体名	団体種別
	十勝バス株式会社	企業
概要	路線バス事業・貸切バス事業	
活動目標	十勝の観光振興の一助となるために、帯広市内の観光地・名所をバスでつなぎ、情報の発信する。また、来勝者の足としての二次交通を担う。	
活動内容	帯広市内の観光地・名所にお客さまをご案内するとともに、ガイドによる十勝の風土を伝えている。平成20年度からシーニック参加施設を中心にコースを設定し、平成21年度にはトカプチ雄大空間のキャッチフレーズ「スイーツ」を新たに取り入れたコースを設定して運行している。	
活動エリア	十勝：路線バス事業・北海道：貸切バス事業	
組織構成	代表取締役社長 野村文吾	
所在地	帯広市西23条北1丁目1番1号	
連絡先	0155-37-6500	
ホームページ	http://www.tokachibus.jp/	
シーニックの関わり	部会・分科会	代表
	活動内容	シーニックバイウェイとしての連携を率先して促し、自ら送客することにより持続可能な経済活動を実践している。また、「道」と同様にバスによっても施設と施設を結べると考え、既存の目的地をシーニックの参加施設に切替えて運行している。結果、ここ2年とも前年実績を上回り交流人口の増加に貢献している。
	将来の展望	施設同士の信頼関係をより醸成させお客さまを紹介し合うことにより、連携先やコース設定を増やしていきながら情報発信を続け、交流人口の増加はもちろんのこと、管外、道外からの来訪者を増加させる。また、これ得られる経済効果を基礎に、送客による新たな価値を創造しビジネスモデルを築く。

株式会社 ボーヤ・ファーム



	団体名・属性	団体名	団体種別
		株式会社 ボーヤ・ファーム	畜産企業
団体概要	概要	綿羊牧場(羊肉、羊毛、羊皮の生産牧場)	
	活動目標	*日本最大の生産牧場に、地域密着型の観光を構築するため景観や体験を重視し活動を行う。 *地元はもちろん、全国各地に安全で美味しい羊肉を提供すること。	
	活動内容	隣接する施設「まきばの家」と協力し羊肉の提供、牧羊犬ショーを行い、また景観を大切に環境整備を行い集客に力を入れる。	
	活動エリア	池田町	
	組織構成	代表取締役 安西 浩	
	所在地	中川郡池田町字清見224-1	
	連絡先	電話 015-572-2127、090-3898-5598 FAX 015-572-4800	
	ホームページ	http://www.netbeet.ne.jp/~boya	
シーニックとの関わり	部会・分科会	楽しむ部会/見る・遊ぶ分科会	
	活動内容	地域の施設との連携を強化し情報交換等すること。各施設へのルート作り、ルート間の景観作りを行い、新たな観光資源を発掘すること。	
	将来の展望	日本はもちろん、海外のお客様にも十勝のあらゆる資源の素晴らしさを提供し、他では経験のできないような魅力的なものにしていくことで長期滞在型の観光、移住を促進する。	

NPO 法人コミュニティシンクタンクあうるず



	団体名・属性	団体名	団体種別
		NPO 法人コミュニティシンクタンクあうるず	非営利団体
団体概要	概要	地域活動に必要な人材が集結し、さらに各活動が横断的な連携を保ち、地域の問題解決を実現する	
	活動目標	地域の問題に対応するための地域づくりのハブ機能として、地域の課題を提案、実行する団体として活動する	
	活動内容	①地域施策と住民ニーズの整合を図るための調査研究事業 ②まちづくりに係わる調査、研究 ③地域の課題解決のために貢献する運動体形成事業 など	
	活動エリア	北海道内	
	組織構成	代表理事 梅津一孝/理事 11名、会員28名 合計39名	
	所在地	帯広市東2条南4丁目10番地	
	連絡先	0155-67-6305	
	ホームページ	http://www.netbeet.ne.jp/~owls/	
シーニックとの関わり	部会・分科会	楽しむ部会/見る・遊ぶ分科会	
	活動内容	ロングトレイルは各地域拠点の魅力を高め、滞在時間を延ばし観光・交流人口を増やすためのツールとしての連携を深める。各拠点間の連携の強化。	
	将来の展望	これまでの旅行スタイルに新たな魅力を付加させることで交流人口が増え、地域の魅力を広範に広める(伝える)ことができる。シーニックバイウェイの魅力を高め、長期滞在による地域経済効果にもつながる。	

(有)紫竹ガーデン遊華



	団体名・属性	団体名	団体種別
		(有)紫竹ガーデン遊華	企業
団体概要	概要	観光庭園・レストラン・花苗販売	
	活動目標	十勝における花文化の振興	
	活動内容	植物を主とした観光庭園・庭園内レストラン・苗販売	
	活動エリア	帯広市	
	組織構成	代表者 紫竹 昭葉	
	所在地	北海道帯広市美栄町西4線107号	
	連絡先	TEL0155-60-2377 FAX0155-60-2378	
	ホームページ	http://www4.ocn.ne.jp/~shichiku/	
シーニックとの関わり	部会・分科会	楽しむ部会／見る・遊ぶ分科会	
	活動内容	当園へと続く道に沢山の花の種を播いて花で一杯の道作りに取り組んでおります	
	将来の展望	当ルートの道沿いを花で一杯の道にして最終的には「北海道といえどどこまでも花に囲まれた道」と言われるように活動していきたい。	

(有)プラン 82



	団体名・属性	団体名	団体種別
		プラン82	企業
団体概要	概要	デザイン事務所・地域活性化のためのグッズ製作	
	活動目標	馬が持つ多面的な能力の発掘（馬と健康の相関など）、普及に関する事業をすすめる、馬と人のふれ合い、福祉の普及増進、馬資源を活用した街づくり、経済活動の活性化を目指します。	
	活動内容	観光、地域振興のために馬関連グッズの開発製作・協力。障がい者乗馬の普及活動、ばん馬のストレス度などの調査、馬文化の継承、啓蒙のための活動	
	活動エリア	十勝管内 & 北海道内	
	組織構成	代表取締役 清原 三枝子	
	所在地	帯広市西 10 条南 15 丁目3-1	
	連絡先	Tel 0155-22-8282 Fax 0155-22-3382	
	ホームページ		
シーニックとの関わり	部会・分科会	知る部会/歴史・文化	
	活動内容	北海道産であるばんえい競馬をシンボルとした馬文化や十勝の開拓の歴史の情報発信と十勝のルート内の遊休地や施設敷地にの資源作物の葉の花やひまわりを植えて、十勝街道を黄色でつなぐイエローリボンプロジェクトの推進。	
	将来の展望	ばん馬が畑を耕し、その糞尿を肥料とし、そこで栽培される黄色の資源作物で十勝シーニックバイウェイルートを彩り、新たな景観創出とその様子を回収しルートが連携して、路路製システムづくりをすすめてい。『ばんえい十勝』を通じて参加団体と連携し、馬文化を継承、地域づくりに「十勝らしさ」を創りたい。	

NPO法人 日本のうらほろ



	団体名・属性	団体名	団体種別
		特定非営利活動法人 日本のうらほろ	NPO法人
団体概要	概要	まちづくりに係る活動	
	活動目標	地域活性化に寄与する	
	活動内容	まちづくりフォーラムの開催、地域の魅力を再認識する活動、地場産の食材を使用した創作料理、町の次代を担う子供たちの活動	
	活動エリア	浦幌町	
	組織構成	代表者 近江 正隆	
	所在地	浦幌町桜町3	
	連絡先	電話:015-576-3000	
	ホームページ	http://urahoro.com/	
シーニックとの関わり	部会・分科会	知る部会/歴史・文化	
	活動内容	地域づくりという観点による連携	
	将来の展望	従来の取り組みを継続させた上で、地域の活性化につながる活動を充実、展開させていく。	

池田ワイン城



	団体名・属性	団体名	団体種別
		池田町ブドウ・ブドウ酒研究所	行政・製造業
団体概要	概要	ブドウ栽培からワインの醸造と販売を中心とした地域のワイナリーを経営	
	活動目標	寒冷地のブドウ栽培を確立し、ワインなどの地域産物の安定生産を図る	
	活動内容	耐寒性ブドウ新品種の開発、ワイン等酒類製造販売、観光施設としての運営	
	活動エリア	池田町字清見でのワイナリー観光、全国への酒類販売	
	組織構成	池田町役場 ブドウ・ブドウ酒研究所（公営企業）	
	所在地	〒083-0002 中川郡池田町字清見 83-3	
	連絡先	所長 中 林 司 Tel 015-572-2467 Fax 015-572-3915	
	ホームページ	http://www.tokachi-wine.com	
シーニックとの関わり	部会・分科会	知る部会・味分科会	
	活動内容	野生の山ブドウから独自のブドウを開発してワインを醸造している。熟成の楽しみがあるワインやブランデーは、農作物の毎年の出来を味として後年に伝えることが出来る。ブドウ畑やワイナリーからの見晴らしの良さと共に、地域の恵みを熟成する施設として観光地整備をすすめている。	
	将来の展望	ワインは世界の多くの地域で長い歴史を持つ伝統的な嗜好品であり、ワインツアーやウィンツーリズムなど観光地めぐりが派生している。十勝の自然が育む地域食材と共に十勝ワインが育てられることで、日常の食生活や地域の文化がより豊かなものとなる。	

北海道菓子工業組合十勝支部



左:笑顔でお菓子の家作り 中央:十勝外からも参加者が多いスタンプラリー 右:お菓子の実演販売

団体名・属性	団体名	団体種別
概要	北海道菓子工業組合十勝支部 お菓子の国 十勝のPR	
活動エリア	帯広 十勝	
組織構成	菓子製造小売店 40社で構成	
所在地	音更町下音更北9線西18-2 柳月内	
連絡先	0155-32-3333 柳月 社長田村	
ホームページ	http://www.marchen-sweetland-tokachi.com/	
部会/分科会		
活動目標	お菓子を食べに十勝へ行こう。帯広、十勝はお菓子の原料の生産地 砂糖、小麦、小豆、生クリーム、牛乳、バター、チーズ、卵、イチゴ) 空気と水がおいしい国のPR	
活動内容	十勝菓子店40店舗スタンプラリー、家族で作るお菓子の家、 地元デパートでの「お菓子の実演販売」催事	
シーニックバイ ウェイとの関わり	十勝のお菓子の魅力で全道、全国から多くの人を呼び シーニックバイウェイを見てもらいたい	
将来の展望	お菓子を通して地域活性化。 お菓子を見て食べて作ることで、十勝の魅力をアップさせていきたい。 お菓子の国十勝を全国に広めていきたい。	

シーニックカフェ 幕別いちご園



上/まぐべついちご園 右下/放牧養豚 左下/農業体験(10月の風景)

団体名・属性	団体名	団体種別
概要	(有)北海道ホープランド	農業生産法人
活動エリア	幕別町	
組織構成	代表者:妹尾 英美	
所在地	幕別町相川143	
連絡先	tel:0155-54-5477 fax:0155-54-5432 e-mail:info@hopeland.jp	
ホームページ	http://www.hopeland.jp	
部会/分科会	知る部会	
活動目標	イチゴ園とカフェをコラボしてカフェを実施してきたが、今後は農業とのコラボによって、 さらに魅力あるものとしていきたい。	
活動内容	トカプチ雄大空間に参加することによって、カフェを開設し、活動団体の連携によって、 情報発信を行ってお互いに送客を行ってきた。	
シーニックバイ ウェイとの関わり	シーニックカフェ開設により、参加活動団体との連携が密になり、それぞれが送客を促す事によって交流人口を増やしたい。	
将来の展望	今後さらに、情報発信をして交流人口を増やして経済発展して行きたい。 現在のカフェをレストランにしていきたい。	

北の屋台(北の起業広場協同組合)



	団体名・属性	団体名	団体種別
		北の起業広場協同組合	協同組合
団体概要	概要	飲食店街	
	活動目標	帯広の中心街の顔づくりと、地域の情報発信できるコミュニティを目指す。	
	活動内容	地産地消を目的とし、消費者と生産者を結び食材イベントなどを通じて地域の豊かさを表現する。	
	活動エリア	帯広市	
	組織構成	専務理事:久保 裕史	
	所在地	北海道帯広市西2条南10丁目7	
	連絡先	TEL/0155-23-8194 FAX/0155-23-8193	
	ホームページ	http://www.kitanoyatai.com	
シーニックとの関わり	部会・分科会	知る部会・味分科会	
	活動内容	地域情報を店主に告知し、お客様に対しての情報発信基地とするため、年に一度はバスを仕立て、シーニックのメンバーや景観の良さを認識するための活動。	
	将来の展望	常に地域情報が集積できる場所を目指し、店主とともに人・物・十勝の景観を発信し続ける場所とする。	

社団法人帯広観光コンベンション協会



	団体名・属性	団体名	団体種別
		社団法人帯広観光コンベンション協会	団体
団体概要	概要	とかち観光情報センター	
	活動目標	帯広市及び十勝の観光宣伝及びコンベンションの誘致・支援など観光関連産業の振興を図るとともに、地域経済の発展に寄与する。	
	活動内容	帯広・十勝への観光客およびコンベンションの誘致促進など	
	活動エリア	帯広及び十勝	
	組織構成	会員約 390 会員	
	所在地	帯広市西2条南12丁目	
	連絡先	0155-22-8600	
	ホームページ	http://www.obikan.jp	
シーニックとの関わり	部会・分科会	感じる部会/おもてなし分科会長	
	活動内容	トカプチ雄大空間との事業の連携をはかり、情報の提供を行う。	
	将来の展望	情報の共有及び事業実施を分担するとともに、一体となった事業展開を図る。	

とちぎ帯広デザイン振興協議会



	団体名・属性	団体名	団体種別
		とちぎ帯広デザイン振興協議会	任意団体
団体概要	概要	デザイン業界団体	
	活動目標	地域でのデザイン普及と振興	
	活動内容	デザインに関する展示・セミナー・研究・各種地域プロジェクトへの参加	
	活動エリア	帯広市・十勝管内	
	組織構成	会長 金澤 和彦 会員:52名	
	所在地	帯広市	
	連絡先	事務局:帯広市商工観光部 工業労政課内 〒080-8670 帯広市西5条南7丁目1番地	
	ホームページ	http://tokachidesign.jp/	
シーニックとの関わり	部会・分科会	感じる部会/おもてなし分科会	
	活動内容	各種ハードおよびソフト類のデザインや企画・コーディネート、研究・セミナーの開催	
	将来の展望	地域づくりなど社会のすべての分野にデザインの視点・手法を活かす	

帯広デザイナーズ協会



	団体名・属性	団体名	団体種別
		帯広デザイナーズ協会	任意団体
団体概要	概要	地元のデザイナーによる組織	
	活動エリア	十勝管内	
	組織構成	会長:松浦美穂子 会員数:24名	
	所在地	事務局:帯広市大通南16丁目2番地2 片所第1ビル2階 ティワイネット内	
	連絡先	電話:0155-67-5571 FAX:0155-67-5582	
	ホームページ	http://www.odadesign.net/	
	部会/分科会	感じる部会/おもてなし	
	活動目標	北海道、十勝・帯広におけるデザイン活動を推進し、その進展をはかると共に、デザインのもつ文化的視野から、創造性を深め、厳しい風土の中に、美しい豊かな生活環境を築き上げることを目的とする。	
シーニックとの関わり	活動内容	1.デザインに関する啓蒙及び普及。(エキシビジョン、シンポジウム、セミナー、その他) 2.デザインに関する調査・研究。(機関紙の発行・資料の整備及び出版) 3.デザインに関する国内及び海外との交流。 4.会員各分野の情報交換及び親睦相互扶助に関する活動。 5.その他、本会の目的達成に必要な事業。	
	シーニックバイウェイとの関わり	●トカプチ雄大空間のロゴマーク製作 ●「携帯持て行くDO!」キャンペーン印刷物製作 ●その他十勝シーニックバイウェイに係るビジュアル製作の手伝い	
	将来の展望	デザインの「地産地消」をはかり、地元デザイナーによる地元の「元氣、魅力、思いやり」を最大限発信するお手伝いをいたします。	

道東道とかち連携協議会



写真左：一般公券によるロゴ・キャッチフレーズの発表記事
写真右：札幌のオータムフェストにて、十勝のPRステージ

	団体名・属性	団体名	団体種別
		道東道とかち連携協議会	協議会
団体概要	概要	十勝の高速道全通まで、事前の準備・対応策を検討・実施する連携団体	
	活動目標	十勝の高速道早期完成・利用促進に加え、観光・物産・交流人口の拡大・向上	
	活動内容	十勝の観光・物産関連団体と道路管理者による連携で「オールとかち」を創造	
	活動エリア	十勝を中心に全道・全国へ	
	組織構成	会長 野村文吾	
	所在地	帯広市西2条南12丁目 帯広駅エスタ東館2F	
	連絡先	0155-22-8600（帯広観光コンベンション協会 担当要南）	
	ホームページ	なし	
シーニックとの関わり	部会・分科会	感じる部会・おもてなし分科会	
	活動内容	・高速道路に関連する様々な催事に、場所や時間を提供。または共同開催。 とかちの観光や物産について、連携し共にアピールに努めている。 ・十勝平原PAにトカプチ情報発信ブースを設置。利用者へサービスを提供	
	将来の展望	民間の有志団体である我々だからこそ起こせるアクションとして、時には協同し、時には分担し、連携を深め共に「とかち」を内外へ広くアピールしてゆきたい。	

帯広商工会議所・情報発信活動



右上：観光ガイド養成 左上：ホコデン 左下：平原のルキア 左：情報発信

	団体名・属性	団体名	団体種別
		帯広商工会議所	経済団体
	概要	地域内の商工業者で組織する経済団体。地域内の商工業者の総合的な改善発展と兼ねて社会一般の福祉の増進に資することを目的に活動する。	
	活動エリア	十勝 帯広市	
	組織構成	[代表者] 高橋 勝坦	
	所在地	帯広市西3条南9丁目1番地	
	連絡先	[電話]0155-25-7121 [FAX]0155-25-2940	
	ホームページ	http://www.occi.or.jp	
	部会・分科会	各部会に共通して参加	
	活動目標	シーニックバイウェイの活動の情報発信と連携の要としてその調整能力を発揮して、トカプチ雄大空間の活動がスムーズに活発になされることを目標とする。	
	活動内容	十勝の地域づくりにおけるハブ機能を保有しながら、地域戦略、施策に関する提言を行い実行する。	
	シーニックバイウェイとの関わり	トカプチ雄大空間に参加のそれぞれの活動団体並びに地域の関係者との調整を図って、地域力を増幅させる役目に徹する。	
	将来の展望	トカプチ雄大空間の活動と連携の要として、それぞれの活動団体並びに地域の関係者との調整を図り、地域振興に結びつく推進力になりたい。	

帯広建設業協会(地域振興対策委員会)



東十勝ロングトレール「森のルート」モニターツアー実施 平成21年10月24日

団体名・属性	団体名	団体種別
	東十勝ロングトレール活動協議会	協議会
概要	東十勝の地域資源をロングトレールの手法を活用しネットワーク化する	
活動エリア	豊頃・浦幌を含む東十勝一帯	
組織構成	東十勝ロングトレール活動協議会／会長 萩原一利	
所在地	〒080-0017 帯広市西7条南6丁目2番地	
連絡先	TEL0155-24-5309 FAX0155-22-5284	
ホームページ	http://www.obt-ken.ne.jp/	
部会／分科会	共通部会	
活動目標	道を舞台に徒歩という最も人間らしい移動手段で自然を体験する事によって交流人口を増やし、改めて地域の良さを再認識する事で地域の活性化を図る。	
活動内容	本年10月に初のモニターツアーを実施した。今後はさらに実験、検討を加えていきたい。	
シーニックバイウエイとの関わり	人間の目線で風景、風土を感じ、それをメンバーの活動団体の活動を連携する事によって地域の新たな魅力づくりに貢献していきたい。	
将来の展望	地域で活動する多くの団体との連携により十勝らしさを見つけ充実させたい。	

芽室町観光物産協会



左上:氷灯夜会場／左下グルメバスツアー／右上オータムフェスト2009に参加して／右下花菖蒲

団体名・属性	団体名	団体種別
	芽室町観光物産協会	団体
概要	観光産業の振興	
活動エリア	芽室町 十勝管内 北海道内	
組織構成	代表者 鈴木 健充	
所在地	芽室町東2条2丁目14 芽室町役場産業振興課商工観光係内	
連絡先	TEL:0155-62-9725 FAX:0155-62-4138	
ホームページ	bunkou@memuro.net	
部会・分科会	共通部会	
活動目標	魅力的な観光情報を発信することにより、芽室町の観光の発展に資するとともに、豊富な地域資源を生かした当協会開催イベント、各種事業とシーニックバイウエイ地域連携を通して交流人口の拡大を目指し、地域産業・観光・物産品の振興を図ることを、目標とする。	
活動内容	・氷灯夜・イリスフェスタ等イベントの開催。 ・芽室町内グルメとビュースポットバスツアーの開催。 ・「芽室遺産」関連事業の開催、後援。	
シーニックバイウエイとの関わり	「トカプ子雄大空間」のネットワークを、それぞれの地域が共有する事が、地域振興に繋がる。芽室町観光物産協会は、さまざまな活動と連携したい。	
将来の展望	バスツアーを、シーニックバイウエイ参加施設と連携して拡大したい。芽室遺産の一つ「新嵐山展望台」の宣伝充実にも協力していきたい。今後、シーニックデッキにする事を検討する。	

森の回廊@十勝



団体名・属性	団体名	団体種別
	森の回廊@十勝	市民団体
概要	森づくり活動	
活動目標	みんなが楽しめる気持ちのいい森づくり	
活動内容	育樹・植樹や間伐、間伐材の活用、散策路や遊び場づくり、観察会やワークショップなどの市民向け体験学習、河畔林づくり	
活動エリア	帯広の森、ウツバツ川河畔など	
組織構成	代表 デビット・キャンベル 会員:15名	
所在地		
連絡先	事務局 磯野照弘 電話・FAX:0155-48-8078 Email: QZM02373@nifty.ne.jp	
ホームページ		
シニクとの関わり	部会・分科会	楽しむ部会／癒し・環境分科会
	活動内容	帯広の森をテーマにした自然体験や観察会などを通じ、地域の自然風土と人間の関わりを学んでもらう。
	将来の展望	様々な団体や市民、また観光客などの地域外の人々と連携を強め、より日常的・継続的な森との関わり方を追求し実践してゆく。

NPO 法人 十勝多自然ネット



団体名・属性	団体名	団体種別
	NPO 法人 十勝多自然ネット	
概要		
活動目標	水辺環境における人と自然との調和についての調査研究、環境教育ならびに自然に関する事業等を行うことにより、現在危機的な状況にある自然環境を維持保全するとともに、我々の子孫に豊かな自然環境を残すことを目的とし、もって社会全体の利益の増進に寄与することを設立の趣旨とする。	
活動内容	1. 河川によりよい自然環境を取り戻すための事業 2. 環境に配慮した地産づくりを実現するための事業 3. 子ども達が自然を体験するための事業 4. 環境に対する啓蒙を行う事業 5. 良好な環境を保全・創出するための地域づくりに関する普及啓蒙事業 6. 良好な環境を保全・創出するための地域づくりに関する調査研究事業 7. 公共関係を行う環境に配慮した地産づくりに対する協力	
活動エリア	十勝管内他	
組織構成	理事長 西江 靖幸	
所在地	十勝多自然ネット事務局（帯広市東6条南7丁目20）	
連絡先	Tel & Fax 0155-22-7511(帯広)	
ホームページ	http://homepage2.nifty.com/near-nature-net/index.htm	
シニクとの関わり	部会・分科会	楽しむ部会／見る・遊ぶ
	活動内容	さまざまな活動との連携
	将来の展望	公共事業を中心とした河川工事の施工を通して、生態系への配慮を行うことにより、この十勝により良い自然環境を創造すること。

Exclamation



写真タイトル

団体名・属性	団体名	団体種別
	Exclamation	YOSAKOIソーラン
概要	YOSAKOIで得る知識や経験、パワーを基に、地元十勝のお祭りや文化活動に積極的に関わり活動をしていく。	
活動エリア	北海道(札幌市ほか)、十勝管内	
組織構成	代表 黒田 勝史	
所在地	常広市愛国町東1-31	
連絡先	tel&fax 0155-64-4103	
ホームページ	http://www.ekula.com/	
部会・分科会	共通部会	
活動目標	北海道を代表する踊りのまつり「YOSAKOIソーランまつり」に参加することチームを通じて、街づくりに貢献する人づくりをしていく事によって、地域振興に貢献する。	
活動内容	・毎年、YOSAKOIソーランまつりに参加(特別賞を1度受賞) ・市民ミュージカル「obiカル」を企画実施	
シーニックバイウェイとの関わり	街づくり・人づくりの点で共通する。連携によって十勝を情報発信している。H21年の「YOSAKOIソーランまつり」ステージで十勝シーニックバイウェイをPR。	
将来の展望	十勝らしさの創造と街づくり・人づくりによる地域貢献	

(株)オークリーフ牧場



団体名・属性	団体名	団体種別
	株オークリーフ牧場	農業法人
概要	ノンGM、ノン抗生物質飼料での肉牛生産、販売	
活動目標	みんなに安心して食べてもらえる健全な食品を生産すること	
活動内容	抗生物質フリー飼料への取り組み、その飼料で飼育生産した牛肉、ハーブ卵の販売。それら生産される牛肉を地元レング倉庫レストランで提供。	
活動エリア	茅渚町(販売に関しては日本全国)	
組織構成	代表取締役 柏葉 晴良	
所在地	茅渚町北平和	
連絡先	電話 0155-62-3472	
ホームページ	http://www.oakleaf.jp/	
部会・分科会	共通部会	
活動内容	十勝食文化はシーニックバイウェイで繋がる。つなげることで十勝への交流人口の増大となりえる。	
将来の展望	シーニックバイウェイと連携し、十勝食文化構築や魅力ある観光資源を作る。	

有限会社 尾藤農産



	団体名・属性	団体名	団体種別
		有限会社 尾藤農産	法人
団体概要	概要	農産物生産、販売(約100Ha 小麦、じゃがいも、大豆、ビート、ながいも他)	
	活動目標	美味しい農産物生産、販売。シーニックバイウェイと連携して生活者との距離短縮	
	活動内容	地元農産物を美味しく見せる場、「地域遺産レンガ倉庫レストラン」運営	
	活動エリア	十勝 芽室町	
	組織構成	代表取締役 尾藤 光一	
	所在地	芽室町祥栄西18線15番地1-9	
	連絡先	電話 0155-82-8340	
	ホームページ	http://www.bitou-nousan.com/ http://www.y-kagura.jp/	
シーニックとの関わり	部会・分科会	共通部会	
	活動内容	シーニックとの連携を深め、交流人口増大を目指し「安全安心の食」を伝える	
	将来の展望	昭和初期建造の農協倉庫、レンガ倉庫の保存を価値周知。まちなかへの人の移入拡大。	